



**日本ジオパークに  
認定されました(10月6日)**



喜界島ジオパーク  
Kikajima Geopark

“（構想）”がついに外れました

【喜界島が日本ジオパークに認定！】

10月6日、日本ジオパーク委員会にて、喜界島が正式に「日本ジオパーク」に認定されました。全国で48地域、鹿児島県内では4地域目の認定となります。

【ジオパークって？】

ジオパークは、「ジオ（大地）」と「パーク（公園）」を組み合わせた言葉で、直訳すると「大地の公園」という意味です。私たちは、動物や植物と

もに大地の上で暮らしています。貴重な地質や地形は、地球の歴史を物語るだけでなく、人の暮らしや文化とも深く結びついています。

ジオパークは、そうした大地と自然、人々とのつながりを学び、地球をまるごと楽しむ場所です。地質や地形から大地の記憶を学び、未来に向けて考え、行動する取り組みでもあります。地球に残された「記録」を学びながら、学習・観光・防災・生活などに活かしていくことを目指しています。

【喜界島ジオパーク推進協議会 会長（町長）コメント】

今回の認定は、隆起サンゴ礁の地質、育まれた文化や歴史、町民・研究者・教育関係者・地域団体が力を合わせて進めてきた活動の総合評価です。ご尽力くださった多くの皆さまに心より感謝申し上げます。この貴重な自然と文化を次の世代へ引き継ぐことが、私たちの大きな使命です。教育・地域振興・防災など多方面での取り組みを継続し、町民とともに誇りある島づくりを進めてまいります。

【今後の展望】

ジオパークは、珍しい地質や自然を紹介するだけのものではありません。私たちが島の成り立ちや歴史を学び、その知恵をこれからの暮らしに活かしていくための「学びと行動の場」です。



公民館講座「喜界島の大地（ジオ）を知る体験教室」

喜界島のサンゴ礁段丘や地殻変動のしくみ、それに伴って発達した集落や文化などを考える大切なきっかけになります。

日本ジオパークとして新たな一歩を踏み出した喜界島。島の自然と暮らしを見つめ直し、次の世代へつないでいけるよう、これからも活動を続けていきたいと思います。そして、「この島に住んで良かった」と思える喜界島を目指して――。

# 喜界島が日本ジオパークに認定！

【これまでの歩み（抜粋）】

- 2019年3月：ジオパーク基本構想策定
- 2023年6月：喜界島ジオパーク推進協議会設立
- 2023年9月：小中学校でジオパーク！給食スタート
- 2023年10月：喜界島ジオパーク（構想）ロゴマークお披露目：小中学校にてジオパーク学習スタート
- 2024年4月：「目指せ！日本ジオパーク認定」第10回記念 東経130度喜界島マラソン開催：ジオツアー開催
- 2025年4月：「目指せ！日本ジオパーク認定」第11回 東経130度喜界島マラソン開催：ジオツアー開催：日本ジオパーク申請書提出
- 2025年5月：公開プレゼンテーション（千葉幕張メッセ）
- 2025年8月：現地調査：喜界島ジオパーク（構想）リーフレット完成

**2025年10月6日：日本ジオパーク認定！**



ジオパーク学習（湧水調査）

【喜界島が認定された理由】

喜界島は、約10万年にわたる気候変動と地殻変動によって形成された、世界的にも貴重な隆起サンゴ礁段丘が見られる島です。その上で育まれた自然と人々の暮らしが、喜界島ならではの特徴的な景観をつくり出しています。

また、喜界町と喜界島サンゴ礁科学研究所が連携し、「ジオパーク！給食」や「ジオパーク学習」、「サンゴ留学」、「公民館講座」など、教育や地域に根ざした活動を積極的に展開してきました。こうした専門的な知見の発信と、住民の参加する持続可能な地域づくりの取り組みが評価され、喜界島は日本ジオパークに認定されました。

【認定当日の様子】

10月6日夕方、喜界町役場には静かな緊張が漂いました。町長室には評議会の



認定後、取材を受ける隈崎会長（町長）

メンバーや各部会長、マスコミ関係者が集まり、日本ジオパーク認定の電話を待ちます。午後4時過ぎ、会長が受話器を取り、日本ジオパーク委員会の声に耳を傾けると――会長から「喜界島、ジオパーク認定されました！」歓声と拍手が広がり、長年の努力が実を結んだ歴史的瞬間でした。